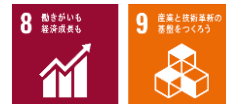


## 株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る  
郵便番号600-8652

## 「京銀輝く未来応援ファンド2号」第13号案件への投資について ～抗ウイルス薬等の研究開発を行う「株式会社 キノファーマ」へ投資～



京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、2019年2月にグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 奥野 浩）と共同で設立した「京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合（略称：京銀未来ファンド2号）」は、第13号投資案件として、「株式会社 キノファーマ」へ投資いたしました。これにより「京銀未来ファンド」および「京銀未来ファンド2号」での投資先は、28社となります。

「株式会社 キノファーマ」は、京都大学大学院医学研究科の萩原 正敏教授が研究で見出した低分子化合物をベースに、主にウイルス性疾患治療薬の研究・開発を進める、京都大学発のバイオベンチャー企業です。同社が新薬開発のベースとする化合物は、既存の治療薬とは異なる仕組みを持ち、幅広い疾患への適用が期待されています。特に研究が進捗している子宮頸部異形成（子宮頸がんの前がん状態）については、現時点で治療薬も無いことから、同社の研究が大変注目されています。

京都銀行グループでは、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等に投資を行う当ファンドを通じ、持続可能な経済成長の実現に向けて、地域の発展と成長に貢献できるよう取り組んでまいります。

## 記

## 1. 投資先概要

企業名	株式会社 キノファーマ
代表者	代表取締役 黒石 眞史
所在地	【本社】 東京都中央区日本橋本町3丁目11番5号 【京都LAB】 京都市左京区吉田下阿達町46 京都大学医薬系総合研究棟イノベーションハブ京都407S号室
設立	2005年4月
事業内容	低分子化合物を活用したウイルス性疾患治療薬および中枢神経系疾患治療薬等の研究・開発

## 2. 投資額

50,196,600円

## 3. 投資について

低分子化合物を活用したウイルス性疾患治療薬および中枢神経系疾患治療薬等の研究・開発を行う「株式会社 キノファーマ」に、技術の実用化に向けた新薬開発資金として投資を行う。

## 4. 京銀輝く未来応援ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド2号)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く以下の企業 ・独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業等 ・後継者不在など事業承継ニーズを有する中小企業等
出 資 者	無限責任組合員 (GP)：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員 (LP)：株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
当行出資額	19億80百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年 (ただし、合意により2年間の延長可能)

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

